

第1号議案

平成28年度備北観光ネットワーク協議会事業報告

1 主催イベント「備北酔い処まつり」の開催

日 時 平成28年9月18日(日)～19日(月・祝)の2日間

会 場 (株)広島三次ワイナリー

来場者数 約5,000人(18日 約3,000人 19日 約2,000人)

概 要

台風16号が接近し、開催日の18日の午前1時過ぎに三次地域に大雨・洪水警報が発令の中、備北酔い処まつりを開催した。

この備北酔い処まつりは備北観光ネットワーク協議会の主催イベントとして、備北の酒をPRすることをテーマに、備北の酒の消費の拡大や知名度を向上させる目的で始めた。そして備北地域の色々な食材を扱ったフードブースや備北地域の伝統文化、芸能などをステージで披露して、お客様が秋のひとときをほろ酔い気分で楽しめる企画のまつりとした。

出店業者

(酒造関連) 9事業者 31種類ボトル販売

【三次市】三酒会・美和桜酒造(有)・山岡酒造(株)・白蘭酒造(株)・(株)広島三次ワイナリー

【庄原市】比婆美人酒造(株)・生熊酒造(株)・花酔酒造(株)・

(酒出品のみ：北村醸造場(有)・NPO元気むらさくぎ)

(フードブース関連) 10業者

【三次市】君田温泉森の泉・三次ロイヤルホテル・Aコープみよし店・(株)布野特産センター・NPO法人元気むらさくぎ・(株)広島三次ワイナリー・お好み焼たむ

商店・高原安瀬平乳業(有) 8業者

【庄原市】やまうえ農園・燻家ぽかぽか 2業者



(単位：円)

収入	負担金	2,015,693	備北観光ネットワーク協議会
	事業収入	963,404	酒カップ売上・前売チケット販売等
	計	2,979,097	
支出		2,979,097	

2 観光情報誌「備北のかがやき」の発行

備北の観光情報雑誌「備北のかがやき」は三次市と庄原市の自然・歴史・文化等をメインに紹介し、季節に応じたイベント・食・レジャースポーツ・宿泊などを掲載して、広域的な観光の魅力を情報発信し、観光客の増加を図った。

(1) 備北のかがやき vol15 (春・夏号)は

8月11日、はじめての「山の日」ということで伝説と巨木に出会うをテーマに備北の山の魅力を紹介した。

広告掲載店 66店
 発行部数 3万部発行
 配布場所 155ヶ所
 行政・観光協会・各種団体・道の駅等に配布



(単位：円)

収入	負担金	491,782	備北観光ネットワーク協議会
	事業収入	528,000	広告掲載料 (66 枠)
	計	1,019,782	
支出		1,019,782	印刷費・配送料他

(2) 備北のかがやき vol16 (秋・冬号)

三次市を拠点に活動する歌手の大山百合香さんをナビゲーターに、三次人形、口和郷土資料館、日本刀鍛錬道場を訪れるコーナーと中村憲吉・倉田百三など日本文学史にその名を遺すゆかりの地を紹介した。

広告掲載店 54店
 発行部数 2万部発行
 配布場所 155ヶ所
 行政・観光協会・各種団体・道の駅等に配布



(単位：円)

収入	負担金	558,310	備北観光ネットワーク協議会
	事業収入	432,000	広告掲載料 (54 枠)
	計	990,310	
支出		990,310	印刷費・取材編集費・配送料他

(3) スタンプラリー運営事業

「備北のかがやき」VOL14～15号で実施したスタンプラリーには、通計68名の応募者を数え、この内20名が当選者となった。賞品は当選者のご希望に添い、

三次市と庄原市均等に配分し当選者へ贈呈した。

- ① 「備北のかがやき」VOL14 応募者17名 (当選者10名)
- ② 「備北のかがやき」VOL15 応募者51名 (当選者10名)

(単位：円)

収入	負担金	71,154	備北観光ネットワーク協議会
	事業収入	0	
	計	71,154	
支出		71,154	20名分賞品代

3 魅力ある観光地づくり事業

中国横断自動車道尾道松江線の全線開通に伴い、岡山市・福山市・松江市等の3才から12才までの子どもを持つ、子育てファミリーをメインターゲットとした体験型プログラム「びほくコドモトフィールド」の開発と観光事業者の育成等及びプロモーションツールの作成に取り組んだ。

(1) スタートアップ研修会の実施

平成28年7月11日 庄原市・7事業施設 三次市・6事業施設

(2) 次のエントリー事業者と「プログラム企画シート」の作成

ふるさと村高暮、ほしはら山のがっこう、農家民宿こがねや、備北丘陵公園

(3) エントリー事業者・専門家との「集合研修」の実施

平成28年10月24日(月)

(4) びほくコドモトフィールド「モニターツアー」の企画

1月中旬～2月初旬にモニターツアー実施

ふるさと村高暮、ほしはら山のがっこう、農家民宿こがねや、備北丘陵公園

モニターツアー参加者 22名 (大人11名 子ども11名)

(5) エントリー事業者・専門家との「報告会」の実施

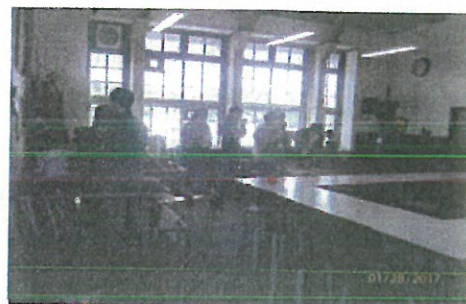
平成29年3月19日(日)

(6) びほくコドモトフィールド「備北ではぐくむ親子の冬ものがたり」

プロモーション用パンフレット 1,000部作成

(単位：円)

収入	負担金	1,000,756	備北観光ネットワーク協議会
	補助金	1,000,000	広島県補助金
	計	2,000,756	
支出		2,000,756	ひろしまワークショップ委託料他



4 観光ボランティア交流について

平成29年1月9日には、国営備北丘陵公園・ひばの里「参集殿」においてひろしま紙芝居村・観光ボランティアなど8団体全員で交流会を行った。

講師はひろしま紙芝居村・阿部頼繁様にお願いし、紙芝居の「伝える力」と題して紙芝居の魅力について講演していただいた。

(単位：円)

収入	負担金	191,386	備北観光ネットワーク協議会
	事業収入	0	
	計	191,386	
支出		191,386	出演団体謝金等

5 広域観光PR事業

(1) 観光キャラバン

中国四国圏のマスコミ関係等を対象に、備北地域の観光の魅力をPRする観光キャラバンを実施した。

平成28年12月1日(木) 尾道FM・尾道CATV・福山FM・倉敷FM・倉敷CATV
山陽新聞本社等を訪問

ワーキング会議メンバー 5名

平成28年12月4日(日) 国営備北丘陵公園にて地域団体連携イベント参加
ワーキング会議メンバー 7名

奥田元宋・小由女美術館・市民ホールきりり 4名

平成29年1月20日(金) 尾道CATVの出演

ワーキング会議メンバー 3名

平成29年2月21日(火) 今治FM・瀬戸内旅行社・愛媛CATV・愛媛新聞旅行
社・読売新聞旅行社を訪問

ワーキング会議メンバー 5名



(2) 国土計画協会の観光資源活用トータルプラン事業により、備北地域に伝わる民話や伝説などの物語を題材にして8話の紙芝居を作成した。紙芝居の観光資源としての活用に取り組み、次のとおり紙芝居まつりを開催した。

ア 平成28年9月18日「備北酔い処まつり」の開催時に、三次市・庄原市の

観光ボランティアなど7団体が参加し、紙芝居まつりを開催した。

入場者 延べ100名

イ 平成29年1月9日には、国営備北丘陵公園・ひばの里「参集殿」においてひろしま紙芝居村・観光ボランティアなど8団体が参加し、紙芝居まつりを開催した。

入場者 延べ250名

(単位：円)



【紙芝居の活用紹介】

① 比婆山伝説ガイド ツイハラの子

「古事記神話の山・比婆山物語」

活動例 第1回ひろしま紙芝居大会参加、比婆山学習で訪れる小学生や市内外から訪れるグループなどに披露

② 三次市観光ボランティアガイドグループ

「三次市忠臣蔵 遥泉院阿久利姫物語」

活動例 12月13日忠臣蔵イベントに出演、学校の授業、地域行事等で披露

③ きさ・よいとこ発見隊

「吉き舎り後鳥羽上皇と銀山街道」

活動例 第1回ひろしま紙芝居大会参加、学校の授業、地域行事等で披露

(3) モニターツアー事業について

平成29年3月26日(日) 日帰りの古事記とものけツアーを企画した。

午前中は古事記の熊野神社で神楽鑑賞、そして庄原ゆめさくらで買物助成券1,000円を使用した土産買物をしていただき、三次の赤猫で昼食をして、ものけゆかりの地と近辺の寺・神社を巡りそして奥田元宋・小由女美術館で山下清展を鑑賞した。

アンケート調査では、7割近くの方が大いに満足したとの回答を得た。

参加者 24名(庄原市10名 三次市7名 広島方面5名 福山・三原各1名)

